

女性の起業チャレンジ応援事業【福島市】

個別事業費	332 千円
交付金額	249 千円

地域の実情と課題

【実情】 女性の労働力（福島県内と福島市内で比較）

→離職者の1割が出産・育児を理由としている。

【課題】 家事・育児・介護については、依然として女性がその多くを担っており、女性が働きやすい環境づくりや多様な働き方の推進が必要である。

目的・目標

【目的】 起業するために必要な知識の習得、女性起業家や同じ考えを持つ女性同士とつながる機会をすることで、女性活躍の場を広げる。

【目標】 講座受講者数 目標：30名 実績：44名（のべ98名）

事業の特徴

先輩女性起業家（起業姉さん）が起業に関心のある女性（起業妹さん）を応援する「ふくしま起業女子応援パッケージ」として事業を展開する。

- ・チャレンジ講座
- ・起業姉妹カフェ
- ・プチインターンシップ
- ・お試しワンデー起業

連携団体

- 福島駅西口インキュベーションルーム
- 包括連携協定企業（主に東邦銀行、福島信用金庫）
- 日本政策金融公庫
- 福島商工会議所
- 福島県（ふくしま女性起業家活躍推進協議会）

事業の効果

- 受講者数について、目標値30名としていたが、44名が受講し、起業に関心のある女性の意欲的な姿勢が見受けられた。
- プチインターンシップでは、3名が起業姉さんの仕事場で仕事の流れや接客を学ぶことができた。
- 同じ志を持つ仲間同士が、試験的な出店をするなど自主的な活動も増えている。

今後の課題

受講者にとって、興味のある分野や業種が幅広いため、ニーズに合わせた先輩女性起業家の人材確保が必要である。

事業の概要

【チャレンジ講座・起業姉妹カフェ】

事業名 姉妹のようにつながる起業チャレンジ

実施日 9～10月(計6回)

内容 【チャレンジ講座】(3回)

(自分のキャリアの見つめ直し・起業知識の習得)

【起業姉妹カフェ】(3回)

(起業姉さんとの交流[相談・仕事場見学・プチ同窓会])

講師 ・キャリアコンサルタント 重巢敦子さん
・中小企業診断士 相馬由寛さん
・福島信用金庫営業推進部本業支援課
(包括連携協定締結企業)
・福島市内の女性起業家

受講者数 44名



【プチインターンシップ】

補助スタッフとして起業姉さんの店舗等で接客や仕事の流れ等を学ぶ。

実施日 11～2月(計3回)

内容 作品制作の手伝い
商品の仕込み
接客、店舗清掃 等



体験者数 3名

【お試しワンデー起業】

実際の店舗運営における実践・体験により、起業する分野・業種の社会的役割やニーズを把握する。

実施日 10月

※起業姉妹カフェプチ同窓会

開催時に同時開催

体験者数 2名

